

氷ノ山後山那岐山国定公園（兵庫県地域）の公園計画の変更について

1. 変更の理由

氷ノ山後山那岐山国定公園は、中国山地の東端に位置し兵庫県、岡山及び鳥取の三県にまたがる県境脊梁山地一帯の地域で、構造山地及び火山群峰に起因する氷ノ山、後山、那岐山等の山岳、音水、芦津等の溪谷及び神鍋、鉢伏、黒岩、恩原等の高原などから成っている。

昭和44年4月10日に指定され、昭和58年には公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）が行われている。今回は兵庫県地域について、人間活動の影響により、湿原・草原が失われている地域について、自然再生施設の追加とそれに伴う施設計画の整理を行うため、公園計画を変更する。

2. 変更案の概要について

（1）自然再生施設の追加

- ・氷ノ山地域（鶴縄溪谷・こしき岩周辺）
- ・高丸・東鉢伏地域（高丸山・東鉢伏高原）
- ・八チ北地域（八チ北高原・大沼湿原）
- ・上山高原地域（上山高原）

利用者の登山道以外への立入り、湿原の集水域の森林の伐採により、湿原の乾燥化が進んでいるほか、草原においては放牧、採草による管理からスキー場としての管理への移行や放置などにより、草原植生の多様性の低下が生じている。また、上山高原地域では、ブナ林の人工林化による種の多様性の低下も生じている。そのため、公園計画を変更して自然再生に必要な施設を整備する。具体的には、湿原への立入り禁止看板や、立入防止柵の設置、草原の刈り取りやオミナエシ等の草原構成種の植栽及び人工林の間伐や広葉樹の植栽を検討している。

（2）植生復元施設の削除

- ・大沼湿原

八チ北高原地域について、自然再生施設計画を追加することに伴い、以前から計画されていた植生復元施設計画を自然再生施設計画に振り替える。



大沼湿原



大沼湿原：乾燥化により一部草原化している



植生復元施設の削除（大沼湿原）



ミツガシワ群落にヤナギ類が侵入



ミツガシワ



高丸山ススキ草原



こしき岩



キャラボク



鵜縄溪谷

(3) 集団施設地区の削除

上山高原集団施設地区

自然再生施設計画を追加することに伴い、将来的に集団施設地区として整備する見込がないため。

(4) 車道の削除

上山高原線

利用の実態に合わせて、歩道計画へ振り替える。

(5) 歩道の追加

上山高原登山線

車道計画からの振り替えとともに、下図の歩道を公園計画に位置付ける。

